

# Rotary 鈴鹿西ロータリークラブ会報

所属：国際ロータリー第 2630 地区 鈴鹿・亀山グループ；

UNITE

創立：1985 年 3 月 27 日；RI 認証：1985 年 6 月 3 日(No. 1665)；

FOR

事務所：〒513-0802 三重県鈴鹿市飯野寺家町 816 鈴鹿商工会議所 3F；

GOOD

電話：059-383-7077；FAX：059-383-0501；

よいことのために手を取りあおう

E-Mail：info@rotary-suzuka-west.org；https://www.rotary-suzuka-west.org/

例会場：鈴鹿商工会議所 4F 大ホール；例会日：火曜日；例会食事：12:00；例会：12:30-13:30；

## 2026 年 1 月 27 日(火)第 1818 回例会

例会場：鈴鹿商工会議所 4 階 大ホール

開始：12:30 終了：13:30

例会進行：伊藤雅文 副 S A A

点鐘：会長 森 喜代造

ソング：四つのテスト

ソングリーダー：服部高宣会員



### 会長挨拶

### 森 喜代造 会長

皆さまこんにちは。今日の昼食はいつもの好広弁当ではなく、外での昼食会ということで、月に一回ぐらいはいいかなと思いました。

さて、今日 1 月 27 日は、明治 3 年にこの日の丸国旗が制定された記念日であります。この日本国の国旗は世界中で誰しもが書ける、また、白地に赤く一番よく知られている日本国旗でございます。

ところで、昨年の 11 月 23 日に名古屋市の安

保ホールにおいて、次期米山奨学生世話クラブ受入の説明会に参加させて頂きましたので報告します。

米山奨学事業の概要につきましては、日本のロータリー独自の事業、これには日本全国で 34 地区の合同活動がされており、世話グループカウンセラー制度で交流を重視しております。

また日本で学ぶ外国人留学生を支援して運営をされておるわけでございます。

その奨学事業の目的としましては、勉学または研究のために来日し、わが国の大学等教育機関に在籍をし、外国人留学生に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善と平和に寄与することを一つの目的としております。

また奨学事業の使命としましては、将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することを使命としております。

そこで成功の鍵を握るのは、「カウンセラー」であります。そのカウンセラーの役割としましては、国際交流と人材育成、いわゆる良い人材を育成することにより、日本中のロータリー会員が寄付に託した思いを叶える。また奨学生にロータリーの精神を伝える。そして会員には外国人

留学生支援の意義を伝えると、ということでございます。

また国際奉仕の最前線いわゆるこのパイプ役でございますが、世話クラブ会員や事務局の方とも交流をしていただくことで、留学生とはどんな人なのか。またどんな勉強しているのか、という疑問も湧いてきます。学校だけでは経験できない体験を、パイプ役としてカウンセラーと情報共有をしていくということでございます。次に奨学生になってよかったですこと、これもアンケートをさせていただいた中でやはり一番は経済的に支えられたが一番多いところでございます。そして二番目には奉仕の心を学ぶことができた。三番目には他国出身の奨学生と交流が出来たことがあります。

また、日本の生活で不安を感じたことのアンケートには、就職や進学などの進路に関する不安、そして経済的な不安とか勉学研究に関する不安や、人間関係に関する不安、友人がなかなかできない、こういった日本の生活で不安を感じたことがアンケートの調査で分かってきております。最後になりますが、それぞれの地区としましては各クラブに五年間に一度は、世話クラブを受けていただき、奨学生とロータリアンの交流を通じて、ロータリー活動の理解と、将来日本との架け橋となる人材を育てていただくようにお願いをしたいという説明会がありました。

まあ色々と説明聞いた中で、それぞれ30人ぐらいの次期世話人が説明会に参加しておりましたが、初めてクラブで受け入れるということもありますので、今後における米山奨学生の世話クラブの受け入れは大変だと感じました。

以上でございます。



#### 幹事報告

#### 柴田友美 幹事

##### 1. 当クラブ 2月の例会変更のお知らせ

2月3日（火）国際奉仕委員会担当夜間例会のため 18：30 より徳兵衛

2月10日（火）休会

2月17日（火）今後のクラブ運営について

2月24日（火）休会

##### 2. 臨時 現・次期理事、役員会（1月13日開催）決議報告

【理事数：9名】

出席：森 川戸 伊藤（義） 柴田 藤野

江藤 小林 （7名）

欠席：沖 俊成 伊藤（雅）（2名）

##### 1.2026-27年度事業について：

チャリティコンサートについての報告・・  
会員の主催するチャリティコンサートということで協力することを前提で検討する。  
協力もしくは協賛する上で当クラブの意向、お尋ねに対し、先方からの回答をみて最終判断とする。

##### 3. 本日例会終了後、第9回理事、役員会および次期理事・役員会を事務局にて開催いたします。

## 出席報告

江藤隆仁 出席委員長

正会員 23 名中 13 名出席 出席率 72.22 %

## ニコニコボックス報告

藤野恵子 親睦・家族委員長

敬称略・順不同

### ※多額

※田中洋二：例会出席できずすみません。

※森 喜代造：本日もよろしくお願ひします。

沖 俊成：寒いです。椿は！！

野間芳実：寒い日が続きます。力ゼ等ひかない様に。

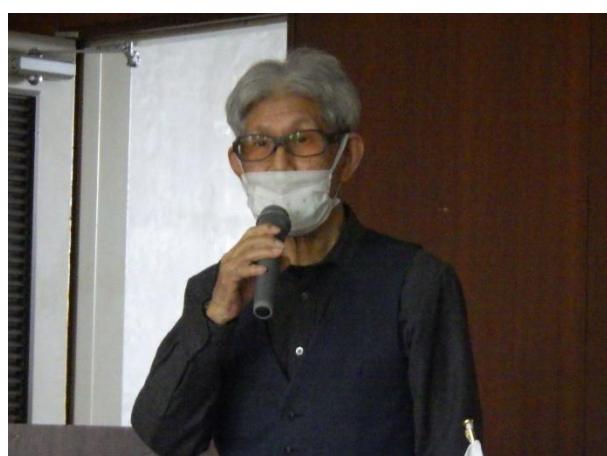
岩崎 透：卓話担当します。よろしくお願ひします。



## 本日のプログラム

### ・ロータリーソングについて

岩崎 透会員



### ロータリーソング について 考察

- 1.ロータリーソングの始まり
- 2.日本のロータリーソング
- 3.鈴鹿西ロータリークラブのソング
- 4.その役割意義

鈴鹿西ロータリークラブ  
情報委員会 岩崎・服部



### ロータリーソング の始まり 互恵か社会奉仕か 抗争

1905年2月ロータリークラブは創立されました。  
時代に適応した「産業革命後の経済恐慌」  
ロータリークラブは、大発展をとげました。

1906年に入会したドナルド・カーターは、  
この相互扶助に対して  
大きく批判をした。



### 新しいかぜ 定款改定

ポール・ハリスは、1906年12月に定款を改正して  
社会奉仕に関する項目を追加した。  
1907年2月、会長就任と共に、運営方針を抜本変更  
会員増強、拡大、社会奉仕の  
実践を提倡した。



### 新しいかぜ 歌を唄おう ハリー・ラグラス提唱

「親睦、互恵」か「社会奉仕」かと  
激しい雰囲気の例会を歌で変えよう。

親睦は、ロータリーの原点  
譲ることのできない絶対価値。  
心を通わせるために歌を唄おう。



日本のRCの発展

歌詞は英語だった



日本:1920年「大正9年」10月20日

東京RC誕生。

その後、大阪、神戸、名古屋、京都、広島、大連、  
奉天、ハルビン、台北と設立され

1930年「昭和5年」には日本には11RCだった  
ロータリーソングは、英語だった。



日本語のソングの要望

京都で発表



1930年 神戸地区大会で日本語による  
ロータリーソングを作ることが採択された。

1935年「昭和10年」京都地区大会で発表。

1位 奉仕は道すれ

2位 奉仕の理想

3位 平和を人の世に植え

4位 我らの生業



第一位

奉仕の理想



当時の第一位は盗作のため、奉仕の理想が第一位  
作詞 前田和一郎「京都RC」

作曲 萩原栄一「東京RC」

日本の歌で世界中で歌われていません。

「利己心を最小限度に抑え、利他の心を追求する  
哲学を表現しています」



鈴鹿西RCのロータリーソング1

鈴鹿の山に 作詞 中野静雄

作曲 鈴 喜活



鈴鹿の山に 緑も萌え

自然の恵みに 育まれ

四つのテストにはげまんと

誓いも固く 手を携りて

おお われ等鈴鹿西ロータリー



鈴鹿西ロータリーソング2

理想は高く 作詞 橋本達男

作曲 鈴 喜活



理想は 高く 鈴鹿峰

奉仕の夢を 生業に

久遠の平和 培おう

おお我等 我等

鈴鹿西ロータリー



ロータリーソングの役割



1.会員間の親睦と一体感の醸成:

2.ロータリー精神の共有

3.例会の導入



ロータリーソングは、ロータリークラブの活動を支える大切な文化であり、会員の人間的成长と社会への奉仕活動を促す重要な要素となっています。

終了



ご清聴  
有難うございました

2026/1/27





### ・職業奉仕について

#### 服部高宣会員

日本人と欧米人の思考様式の違いについて  
欧米人は分析的、直接的に思考し、因果関係を重視して問題を単純化する傾向があるのに対し、日本人は包括的に思考し、間接的な表現を好み、物事を関係性や文脈の中で捉えようとなります。

#### 要点

欧米人の思考：分析的、直接的表現、オープンなコミュニケーション、因果関係に注目し合理的に判断、議論の対象を文脈から切り離してシンプルに捉える。

日本人の思考：包括的、間接的表現（察する文化）、すべてのものは関係性の中で成り立つと考え、融合を目指す、広い文脈（背景や状況）を組み合わせて考える、集団思考と個人思考、長期的と短期的思考を同時に行うことができる。

#### Examples

暴走するトロッコが前方の線路上で作業する5人に向かっている。自分がいる交換機のレバーを引けば、別の線路に切り替わるが、そちらには1人の作業員がいる。この状況でどちらを選択するかという思考実験。

欧米人の考え方では、5人を助けるか1人を助けるかという判断が主題となることが多い。

日本人の場合は、まず両方の全員が助かる方法はないかと第一に考える傾向がある。

日本には100年以上続く企業が3万3000社ほど存在する。これは欧米（例：ドイツで数千社）と比較して非常に多い。

これは、自らの利益を考えながらも、100年後の企業のあり方まで考えるという、日本人の長期的な思考能力の表れではないかと思われます。

国際ロータリーは、2020年頃からの会員数の大規模な減少と財政難を受け、その最優先事項を「社会奉仕」から「会員増強」へと大きくシフトしました。このトップダウンによる方針転換は、西洋的な思考に基づいていると分析され、日本のロータリアンとの間に混乱や断絶を生んでいると指摘されています。

ジェニファー・ジョーンズ会長（2022-2023）の時代からDEI（多様性、公平性、インクルージョン）が全面的に推進されたが、その解釈にズレが生じている。

ジョン・ヒューコ氏の登場から会員が10万人強減少した。

優先順位が社会奉仕から会員増強へ変更されたことで、ロータリーの活動方針に混乱が生じ、「迷走」が始まったと感じられる。

規定審議会では、日本から提出された26件の提案がほとんど通らないという事態が起こり、国際ロータリー指導部と日本のロータリアンとの間の断絶が示唆されている。

ジョン・ヒューコ氏が当初抱いていた社会奉仕の理想を、会員減少という現実の中で貫徹しようとした結果、西洋的な分析思考に基づき「会員増強」という明確な目標に舵を切った。しか

し、そのやり方が日本の包括的な思考様式と合わず、結果として「施策をなくしてきた」状態に陥っていると考察しています。

#### 日本的な包括的思考の実践成功例

日本の包括的・複合的な思考様式が、複雑な課題解決や技術開発において優れた結果を生み出していることを示す具体的な成功例が紹介されています。

多岐にわたる要素を包括的に考え、それらを融合させて物事を成し遂げるという日本的な思考が、世界的な成功につながっている。

アメリカが 20 年近く研究開発しても実用化できなかったレールガンを、日本が開発に成功。2023 年 10 月、護衛艦「あすか」に試作品を搭載し、洋上射撃試験で標的への射撃に成功した。これは、火薬ではなく磁力で弾丸をマッハ 6 で発射する兵器で、射程距離は 200km。

12 発の連射に成功し、現在は 50 発の連射を目指して開発が進められている。

この成功は、多岐にわたる要素を包括的に考えて物事を進める日本の思考の成果だと述べられている。

トヨタ自動車は、地球温暖化問題に対し、電気自動車 (EV) 一つに絞るのではなく、様々な複合要素を考慮して多様な選択肢 (ハイブリッド、水素など) を開発する「マルチパスウェイ」または「全方位戦略」を探っている。

この戦略により、トヨタは世界トップクラスの自動車会社としての地位を確立した。

これも物事に対する日本の考え方の成功例として挙げられている。

ガバナーに対し、ジョン・ヒューコ事務総長から「ライオンズ等々の奉仕団体と提携して奉仕活動をしてください」という指示があった。

各クラブは自主性を發揮し、独自のクラブ運営を進めること。

国際ロータリーからの上位下達の指示は、良い点だけを適度に取り入れることが必要ではないかと思われます。

ロータリーの本質とは何でしょうか、職業奉仕を中心とした人づくりだと思います。単なるボランティア活動ではなく職業を通じて社会に貢献し、同時に人格を磨く学びの場であります。しかし、現在の RIにおいて、職業奉仕は五大奉仕の一部門に過ぎず、もはや過去のものとしての扱いであります。その意味で、RI はかつてのロータリーとは異なる組織になってしまったと思われます。RI はたしてどのように変わってきたのか。

トップダウン型の組織変化、昔のようなボランティア主導の団体から企業的な組織体制に変わっています。現在は強力なリーダー、CEO 主導で方針が決まるスタイルが定着しております。一方、地域のクラブ自主性が弱まり、本部の方針に従う傾向が強まっています。RI はジョン・ヒューコ CEO の独壇場のように移ります。確かにヒューコ事務総長が在任した 14 年間で本部の効率化は進みましたが、会員増強や理念の再生という点では、成果を残すことができなかつたと思われます。にもかかわらず、報酬は毎年増加をしており、さらに会員数の減少による財政的なひっ迫を人等分担金の値上げによって補つている現状があります。

これにより規定審議会にて人等分担金の値上げが決まりました。毎年値上げをして 2028 年度には 93 ドル約 3~4 年で 1 万 4 千円ということになります。

会員減少と財政ひつ迫にもかかわらず、RI 本部の報酬は上昇を続けており、その不足分を補うために人頭分担金が引き上げられています。

ロータリーの「職業奉仕」って聞くと、「立派なことをしないといけないの？」って思いがちですが、全然そんなことないです。

いつもの仕事を、ちょっとだけ丁寧に、誠実にやる。それだけで職業奉仕になります。

仕事って

- ・自分や家族のため

- ・会社のため

もちろん大事です。

でもロータリーではそこにもう一つ、「社会のためにになっているか？」という視点を足します。

迷ったら「四つのテスト」

そんなときに使えるのがこの 4 つ

真実かどうか それ、ウソじゃない？

みんなに公平化 誰かだけ損してない？

好意と友情を深めるか どうか人間関係を壊さない？

みんなのためになるか 結果的にみんなのためになる？

これを仕事に当てはめるだけで、「ロータリアンっぽい判断」になります。

ボランティアじゃなくて OK

職業奉仕＝ボランティアと思われがちですが、違います。

- ・自分の専門を磨く

- ・いい仕事を続ける
- ・信頼される職業人になる

これ全部、職業奉仕です。  
利益を出すことは悪じゃない。

ロータリーは「儲けるな」とは言っていません。  
正しく稼いで、正しく続ける。  
その結果、社会から必要とされる。  
これが理想です。

最後にひとこと

職業奉仕は

「いい人を演じること」じゃなくて、「いい仕事をすること」。

まずは

- ・約束を守る

- ・誠実に説明する

- ・逃げない

ここまで十分です。

「ロータリーは、仕事を通じて信頼される大人になるための場所」

会報発行担当：川戸広樹